

研究課題「創外固定器を用いた下肢変形矯正の治療成績の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2003年1月1日～2016年12月31日に名古屋大学医学部附属病院またはあいち小児保健医療総合センターで創外固定器による治療を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究では、創外固定器を用いた下肢変形矯正の治療成績を単支柱型創外固定器による治療群とリング型創外固定器による治療群別に評価し比較検討することです。治療前後のレントゲンより矯正角度の計測を行います。また、既往歴、手術時間、出血量、治療期間、合併症等をカルテより転記し、2群間で比較検討します。研究期間は、実施承認日から2022年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：創外固定器による治療前後のレントゲン、既往歴、手術時間、出血量、治療期間、合併症、カルテ番号、生年月日 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科整形外科学・講師・三島健一

名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座・助教・松下雅樹

あいち小児保健医療総合センター・センター長・服部義

あいち小児保健医療総合センター・副センター長兼臨床研究室長・鬼頭浩史

あいち小児保健医療総合センター整形外科・医長・金子浩史

本研究に関して、企業などより補助を受けることなく、また本研究において寄附元の企業からの研究費補助などは受けていないため、特定の企業に有利な結果が恣意的に誘導されない研究実施体制が確立されています。

研究分担者の松下雅樹は名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座（スポンサー：愛知県）に所属しているため利益相反状態にあります。愛知県が本研究の

計画、実施、評価に一切介入することはないため、恣意的に愛知県に有利な結果に導かれることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科整形外科学

三島健一

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-1908

FAX 052-744-2260

研究責任者：同上

研究代表者：同上